

＜第7回「第2のふるさとづくりプロジェクト」に関する有識者会議＞  
**モデル実証事業の中間報告**

---

令和5年12月4日(月)  
観光資源課

# モニターツアーの進捗状況について

- **全地域において、1回以上のモニターツアーを実施済み。**  
このうち、
  - ・ 3地域において、予定しているすべてのモニターツアーが終了。
  - ・ 12地域において、今後、旅ナカのモニターツアーを実施予定。
  - ・ 3地域において、今後、旅アトのモニターツアーを実施予定。
- 現時点でのモニターツアー参加者は延べ567人。

## 今年度開催したモニターツアーの様子



養蚕文化を伝える織物教室  
(福島県福島市)



お祭りに向けた盆踊り練習  
(埼玉県秩父市)



コンシェルジュから  
「やんばる」の文化を学ぶ  
(沖縄県国頭村ほか)



間伐した竹を再利用したワークショップ  
(神奈川県大井町)



「宿のしごと」のお手伝い  
(新潟県南魚沼市ほか)



地域の起業家との交流  
(香川県琴平町)

# 今年度実証事業において判明した課題と解決策①

## 1 福島県福島市

### ① 初来訪への訴求力の向上

養蚕だけでは初来訪の集客が少なく、ハンドクラフトの方が初来訪のハードルが低い。

### ② サブターゲットである学生の再来訪の誘引

メインターゲットである30～40代/60代以上の層に比べ、学生は金銭的・時間的な自由度が低いため、再来訪への結びつきが難しい。



- ① 初来訪向けにはハンドクラフト（織物）を前面に出し、**養蚕は再来訪者向けのコンテンツとして組み込むことに変更。**
- ② 再来訪イベントで展示会を開催し、**ツアー中に制作体験をした織物やランプシェード等を展示**するよう変更。

## 2 福島県葛尾村

### ① DIYができる物件の供給

空き家物件自体が少ないことに加え、空き家の中に前住民の荷物がある、不定期に住居等として活用している等が判明。今年度事業の実施は、既存の空き家のみで足りるが、継続的に実施する上では、空き家不足が懸念。



- ① DIYツアーを通じて住民の理解を深めていくほかに、**土で家をつくる工法を活用したワークショップ等の代替案**を検討。

## 3 埼玉県秩父市

### ① 地域住民との交流の深さ

地域の祭り関係者は、祭り運営・準備への突発的な対応等が強られるため、ツアー参加者と深い交流に十分な時間がとれないケースがある。



- ① **祭りに直接かかわらない住民（滞在施設関係者、地元の高校生等）との交流の場を創出。**

# 今年度実証事業において判明した課題と解決策②

## 4 埼玉県小川町

### ① 休憩場所やお手洗いの場所の確保

ファミリー層をターゲットにしているため、ツアー中に休憩できる場所の確保が必要である。

### ② 適切な情報発信

適切なタイミングでの情報発信が出来ず、モニターツアーの集客に苦労した。

① 町内事業者の協力により、休憩場所等を確保。

② 鉄道広告やSNS・WEB等を活用し、よりターゲットに届く情報発信の実施。

## 5 神奈川県大井町

### ① 来訪者ニーズに沿った受入体制整備

来訪者ニーズの把握と来訪者ニーズにあわせた体験プログラムの造成が難しい。

① 来訪者ニーズの把握に向け、コンシェルジュにより開催されているプログラム研修会を来訪者を交じて実施。来訪者ニーズの把握と共に、新たなプログラム開発にもつなげ、受入体制を整備。

## 6 新潟県南魚沼市ほか

### ① 継続実施のためのマネタイズの確立

「さかとケ」等のお手伝いを通じた宿泊費免除の取組を行ってきたものの、継続的に実施していくための収益化・マネタイズが必要である。

① 「さかとケ」とは別にテーマ別の有償ツアーを併せて実施し、地域への理解や関係性の深化を醸成するとともに、継続して実施できるマネタイズの方法を検討。

# 今年度実証事業において判明した課題と解決策③

## 7 長野県長和町

### ① モニターツアー当日のキャンセルの発生

20名で実施予定であったモニターツアー当日に、3名のキャンセルが発生。



① **予約時点での決済環境を整備し**、安易なキャンセルの発生を防止するとともに、キャンセルが生じた場合もキャンセル料を徴収できる仕組みの構築。

## 8 岐阜県下呂市

### ① ゲストとホスト・ゲスト同士の交流の深化

チルアウトをコンセプトとしたプログラムの性質上、地域の人と来訪者の関係や来訪者同士の関係を深めるための工夫が必要。



① お互いを名前で呼びあうことを意識する、地域の人と来訪者が分断しないよう郷土料理を共に作る等の**交流型の体験プログラムの実施**。

### ② 地域の魅力を自然に感じてもらえる環境の整備

ホスト側から一方的な説明ではなく、ゲストが自発的に町の魅力に気づいてもらえるような工夫が必要。

② ツアー中に地域のお店に立ち寄り、プログラムに地元の方を招き入れる等**自然な交流の場**を構築

## 9 滋賀県栗東市

### ① “日常のなにげない体験”のコンテンツ化

特に家族連れは“非日常の体験”だけでなく、“日常のなにげない体験”にもニーズがあるため、コンテンツ化していく必要。



① 日常のなにげない体験をコンテンツ化することに地域がさらに目を向けてくれるよう、**地元作戦会議を開催**。

### ② ツアー参加者の学生のコンシェルジュとして活用

学生が関わりやすい時期での催事や学生の関わり方の選択肢を増やす必要。

② **大学と地域との対話の場を設定**、事業企画への大学の関与や、先輩から後輩へ学生の関与の連鎖の誘発。

### ③ リピーターから関係人口への発展

迎えられる側から迎える側になるためのプログラムの構築が必要。

③ **来訪者としての関わりから(準)スタッフとしての関わりへと進めるプログラム**の造成。またそれらへの地域の受入れ方・関わり方の検討。

# 今年度実証事業において判明した課題と解決策④

## 10 京都府南丹市美山

### ① 受入れる地域側のマインドセット

地域側が参加者をお客様扱いする傾向があり、参加者ができる仕事に限定的になるケースがある。また、受入側が参加者に指示することに慣れず、仕事を任せられていない。



- ① コーディネーターが、受入側の希望する仕事と参加者ができる**仕事の事前マッチング**を行い、**事前に実施要項を作成**する等の環境を整備。

## 11 兵庫県丹波篠山市

### ① 法令遵守・諸手続きの円滑な実施

旅館業法に基づく営業許可を取得するための設備等の条件整備に時間を要した。

### ② 若手陶工のガイド経験の不足

窯元や立杭の郷について、若手陶工がガイドをした経験が乏しく、事前準備等が必要。



- ① 事業の趣旨を含め、保健所、消防署、建築士等と前広に共有し、**密に連絡調整を実施。**
- ② **若手陶工向けの勉強会やモニターツアーを複数回実施。**

## 12 兵庫県新温泉町

### ① ツアー中の移動環境の整備

地域課題の発見・解決をテーマとしたプログラムの性質上、公共交通を利用したプログラムとしたいがプログラムの遂行に適した公共交通の選択肢が少ない。



- ① 地域にある「高速バス・路線バス・コミュニティーバス」などの公共交通に加え、対応できない場合は**デマンドバスや貸切バスを組み合わせて移動手段**を確保。

# 今年度実証事業において判明した課題と解決策⑤

## 13 奈良県吉野町

### ① 企業ニーズとのマッチング

造成した地域資源を題材とした企業研修プログラムについて、企業向けに集客する際、地域との交流機会を設けることに対して企業側から、研修プログラムの内容変更等の要望があり、理解を得ることが難しかった。



- ① 地元の地方銀行、(株)日本能率協会マネジメントセンター等の協力を得て、企業研修プログラムを見直すとともに、**地域との交流にも理解のある企業**に対象を変更。

## 14 島根県江津市

### ① 交通アクセスの改善

現地までのアクセスが不便であり、また滞在中の個人の自由な移動が困難。

### ② 地域住民・来訪者による合意形成

ブートキャンプで立ち上がったプロジェクトを、特定の管理者を設定せず、地域住民・来訪者同士が共同して運営するDAO型プロジェクトとして立ち上げ運用するためには、合意形成のための時間が不十分。



- ① **乗合タクシー等の可能性**を検討中。  
 ② ツアー後も継続して双方向でコミュニケーションが取れる**オンライン会議（なりわい会議）**を**立ち上げ**。

## 15 山口県下関市

### ① 参加者と地域のハブ役の確保

地域の受入体制の構築において、参加者と地域のハブ役となる人材が複数必要。



- ① **地域のオリジナルコンテンツとして運営していくための地域向けワークショップの実施、マニュアル作成等の検討**。

# 今年度実証事業において判明した課題と解決策⑥

## 16 香川県琴平町

### ① 来訪者の顧客情報管理

来訪者の年齢や居住地、訪問目的などの正確なデータベースを構築できておらず、データに基づく分析やそれに基づく効果的なブランディングやプロモーションが不十分。



① プロジェクトマッチングサイトを開設し、**顧客情報の集約・整理を行う環境を整備。**

## 17 愛媛県西条市

### ① 地域内の合意形成

地域キャストによって、「体験コンテンツに参加していただきたい」や「人手不足を解消したい」等の来訪者に求める動機が異なっており、キャストを拡大していく上での合意形成が困難。



① **地域キャストそれぞれに寄り添ったヒアリングの実施。地域キャストのニーズに沿った事業構築**の方向性を検討。

## 18 沖縄県国頭村

### ① 事業継続の収益化

再来訪期待を高めるコンシェルジュプログラム、募集ツール・オペレーションは確立出来たが、移動シェアを含め、利用者からの収益化が難しいため、事業継続に必要なや財源確保の検討が必要。



① 事業継続に必要なオペレーション体制を構築するために、**行政からの補助やクラウドファンディングの活用を検討。**

## 集客・プロモーション

- チラシやHPのみでは、**事業趣旨を伝えることが難しい**（愛媛県西条市ほか）。
- 来訪者ニーズに合わせた適正な訴求ターゲットを見出す観点から、今後、大学や企業など**親和性が高い機関との連携手段**を検討する必要がある。（愛媛県西条市ほか）

## 地域との関係性の継続・深化

- 旅アト終了後の、**ゆるやかな関係性構築をどのように継続して深化させていくか**が難しい。（埼玉県秩父市ほか）
- モニターツアー後に個人手配での再来訪が見られる等、**再来訪の正確な把握が困難**。（埼玉県秩父市ほか）

## 地域内での体制構築

- 移住や雇用面でプラス影響となる可能性があるため、来年度に向けて**県市町村行政との連携**を検討する必要。（新潟県南魚沼市ほか）
- **地域の方のニーズを網羅する仕組み作りやシステム構築**の深掘りが急務。（愛媛県西条市ほか）
- 受け入れ側の猟師さんがご高齢の方が多く若い人材がいないため、**集客や来訪者とのコミュニティづくりの際にやり取りが困難**。（山口県下関市）
- 保育園留学事業での、園児の保護者からの**合意形成が取れなく**事業が止まってしまった。（長野県長和町） 8

## 移動環境

### ■ 一次交通

- 公共交通が不便。列車本数の限界や空路・陸路について、他交通機関や道路等接続の課題が残る。  
(島根県江津市ほか)

### ■ 二次交通

- 村内での来訪者が使う交通に関して、見通しが立てられなかった。 (福島県葛尾村)
- 自走化を見据えた際、二次交通の確保が課題となる。 (埼玉県小川町等)
- 地域住民を意識したダイヤ編成となっている地元公共交通に対して、観光者目線をどこまで反映するか検討する必要がある。(兵庫県新温泉町等)
- mobiに関して、利用人数・時間帯によってはすぐにドライバーとマッチングしない場合がある。(香川県琴平町)
- 自家用運送有償旅客制度の実証に際し、最寄り駅と体験場所の1対1の関係性でしか事業者の送迎ができな  
いため、地域事業者のみの運営では実現できるプランに限界があった。(岐阜県下呂市)
- 今後のツアー開催地以外へのエリア拡大を見据えた場合の交通手段の確保 (新潟県南魚沼市ほか)

# 現在、各地域で対策を検討中の課題

## 滞在環境

- 滞在の長期化に伴う宿泊先の確保が難しい。（福島県福島市ほか等）
- 長期化に伴い、参加者同士のコミュニケーションのケアが必要である。（福島県福島市ほか）
- 実証エリアが「市街化調整区域」に位置しているため、空き家を活用するに当たって、住宅・都市部局との事前調整が必要（滋賀県栗東市）

## 自走化に向けて

- 今回は事業費を活用して、かなり金額を抑えて販売を行ったが、特に受け入れ環境構築の事前準備等に発生する費用がかなり掛かるため、自走して販売を行っていくための価格設定が難しい。（埼玉県小川町）
- 竹アカデミーは会員制とし年会費10,000円としたが、年間を通じた運営にあたり採算を担保できる適性な価格設定が難しい。（神奈川県大井町）
- 持続可能な組織運営にむけた組織マネジメント方法について検討が必要である。（新潟県南魚沼市ほか）
- 経済的に自立して運営する方法を模索している。（京都府南丹市等）
- ツアーとしてのニーズ、集客、体験者満足には一定の成果が残せたものの、各参画事業者の個別収益や個別事業への貢献の実現が難しい。（沖縄県やんばる3村）
- 全額自費負担となったあとの来訪者・企業の来訪意欲の継続。（奈良県吉野町）

# 【参考】採択地域のパターン整理

## ✓ 地域で何かを学びたい、身に付けたい



福島県福島市ほか  
農家から養蚕を学ぶ



福島県葛尾村  
大工からDIYを学ぶ



兵庫県丹波篠山市  
窯元とともに暮らし、  
窯業を学ぶ



兵庫県新温泉町  
地域課題を解決することで、  
自分自身の学び直しをする



山口県下関市  
地域の狩猟会から  
狩猟を学ぶ

## ✓ 地域で役割を持ちたい



埼玉県秩父市ほか  
祭りの運営に取り組む



新潟県南魚沼市ほか  
地域の仕事を手伝う



京都府南丹市  
地域内活動を学生向けに  
プログラム化する



奈良県吉野町  
桜の自然活動を行う



愛媛県西条市ほか  
祭りの運営を補助する

## ✓ 自分を見つめなおす、リラックスする



岐阜県下呂市  
自然資源を活用した  
テラアウトプログラムを体験する



島根県江津市ほか  
温泉街を活用し、起業を促す  
ワークショップを通じて交流する



香川県琴平町  
地域で起業した人と交流する



沖縄県国頭村ほか  
コンシェルジュとともに、  
やんばるの文化に触れる

## ✓ 子供や家族の学び、経験を通じた交流



埼玉県小川町  
家族向けの自然学習体験  
を提供する



神奈川県大井町  
竹を活用したワークショップ  
を提供する



滋賀県栗東市  
農業、自然等を活用したプログラム  
を提供する

＜第7回「第2のふるさとづくりプロジェクト」に関する有識者会議＞  
**ワーケーション事業の概要**

---

令和5年12月4日(月)  
観光資源課

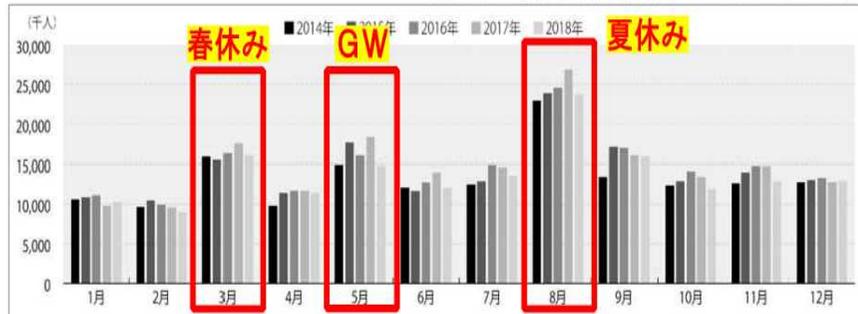
## 観光立国推進基本計画 (第4次)



- 国内需要喚起
- **ワーケーション、第2のふるさとづくり**
- 国内旅行需要の平準化

## ○国内旅行者数（月別推移）

資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに（公財）日本交通公社作成



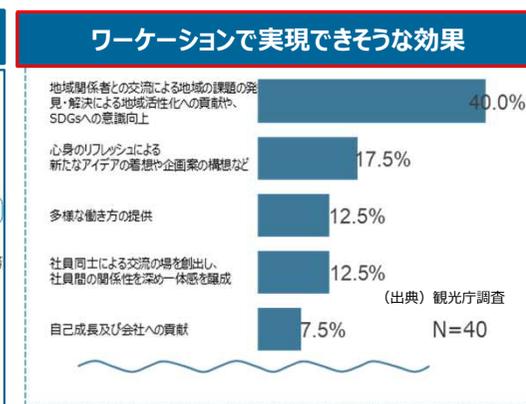
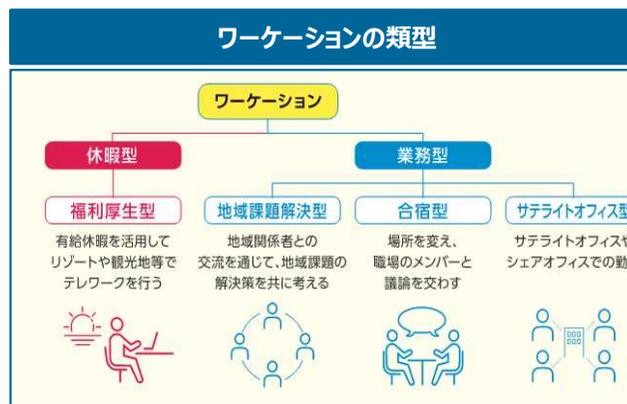
## 取り組みの背景

- 従来の日本の旅行スタイルは、**特定の時期に一齐に休暇取得する、宿泊日数が短く、旅行回数も少ない**といった特徴から、**旅行需要の集中**や**観光消費額の伸び悩み**に繋がっている。
- ワケーションを「**旅行機会の創出**」や「**旅行需要の平準化**」のための**取組**として捉えつつ、働く場所や時間の自由度を高める観点で、**働き方改革や企業の経営課題への対応、地方創生等にも資する取組**として、その推進を図る必要。

## 「ワーケーション」とは・・・

「Work（仕事）」と「Vacation（休暇）」を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、**普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。**

- ワケーションの形態では、単に余暇期間を活用したテレワーク（**福利厚生型**）だけでなく、業務の一環として、地域貢献を目的とした**地域課題解決型**の解決をテーマにしたワーケーション（**地域課題解決型**）や職場内のチームワークの向上やスキルアップを目的としたワーケーション（**合宿型**）等も存在。
- 送り手となる企業からは、**地域課題解決型や合宿型へのニーズが高い**。観光庁でもR5事業において**企業からニーズが高いモデルの構築**を実施。



## 課題背景及び取組方針

- 従業員数100名以上の企業におけるワーケーション制度導入率は、**令和4年度で13.4%**と増加傾向にある。  
(※令和3年度調査では9.1%。出典は観光庁調査。)
- 更なる導入率の増加に向けては、ワーケーションの効果や意義についての企業の認知不足、受入体制の整備が課題。

- ▼
- (1) 社会全体に対する普及啓発  
【概念や意義などワーケーションそのものの理解を促す周知】
  - (2) 企業と地域の取組促進  
【目的・効果・導入プロセスの整理と周知／類型別の事例創出と横展開／経営者層の理解促進】
  - (3) 企業、地域が連携できる環境づくり  
【実践と定着のための企業と地域のネットワーク化】



## 主な取組

### 【情報発信】

テレワーク・ワーケーション官民推進協議会と連携して情報発信を行う。企業に対してはワーケーションに取り組むメリットや先進事例に関する情報を発信し、気運醸成を図る。地域に対してはワーケーション環境の構築に関するノウハウや支援策の情報を発信し、取組を加速させる。

### 【モデル実証事業】

企業のワーケーション実施率向上を目的に企業ニーズに即した働き方改革、地域貢献、新規事業開拓等に資するプログラム造成を行うためのモデル実証を実施する。  
ワーケーション環境が整っている地域・企業から採択。(10件)

### 【セミナー・経営層向け体験会】

企業及び地域のワーケーションに対する理解促進とあわせて、企業と地域との交流機会の創出を目的に、セミナー及び経営層向け体験会をワーケーション推進地域で行う。  
(セミナー8回、経営層向け体験会3回)

## 取組事項

## 取組内容

### モデル実証事業

- 52件の申請に対して、**10件**を採択。  
(現在、各事業者にてモデル実証実施中)



▲地域枠 日向市：ワークスペース

### セミナー・ 経営層向け体験会

- (地域セミナー)**全国8ブロック**で開催。和歌山県白浜(6月)、埼玉県秩父(7月)、鳥取県中部(9月)、福井県高浜(10月)、北海道富良野(10月)で開催。年度内に、2回開催予定。
- (経営層向け体験会)**今年度中に全3回**予定。第1回は和歌山県白浜(6/25-6/27)、第2回は北海道富良野(10/19-10/21)にて開催。令和6年2月に福岡にて開催予定。



▲和歌山県みなべ町：梅収穫体験

### 情報発信

- 観光庁の「『新たな旅のスタイル』ワーケーション&ブレジャー」WEBサイトにおける**制度導入に役立つ情報や各種イベントの開催の発信**。
- テレワーク・ワーケーション官民推進協議会と連携し、オープンチャットを活用した、**企業や地域、関連団体の取組情報の発信**。  
(チャットメンバー：167人 2023.9.14現在)



▲「新たな旅のスタイル」ワーケーション & ブレジャーWEBサイト

# 【令和5年度】採択事業一覧

## 企業枠

申請主体	実施地域	事業名
日本航空株式会社	青森県弘前市 和歌山県みなべ町	空からみる未来の農業 ワークーションによる新しい価値創造ストーリー実証事業
株式会社コミクリ	岐阜県養老町 静岡県富士宮市	地域と共存・共創を目指す人生と働き方を豊かにするワークーションの実証
海士町観光業魅力化協議会	長野県須坂市 長崎県佐世保市	地域版人的資本経営を目的とした『地方×地方』観光人材育成ワークーション事業

## 地域枠

申請主体	実施地域	事業名
日向市	宮崎県日向市	企業と地域によるワークーション共創に向けた新たな交流創出事業
一般社団法人伊豆高原観光オフィス	静岡県伊東市	伊東を体験するワークーションプログラム
一般社団法人信州たてしな観光協会	長野県北佐久郡立科町	2023年7月開業の女神湖シェアオフィスを拠点としたワークーション実証事業
ワークーションまちづくりラボ (株式会社ふるしきや)	千曲市及びしなの鉄道沿線地域	ワークーションまちづくりラボ
株式会社いろは	滋賀県	近江商人発祥の地が提供する「三方よしワークーション」プロジェクト
株式会社かまいしDMC	岩手県釜石市	地域課題解決に向けた地域・企業双方のニーズ整理手法開発と検証
株式会社キッチハイク	静岡県御殿場市 和歌山県白浜町	企業と連携した「保育園留学®」によるワークーションの全国モデル展開